

佐賀の若者応援・次世紀プロジェクト

佐賀の若者の「志」を支え「活躍」を援ける



令和3年10月

公益財団法人佐賀育英会

## 公益財団法人佐賀育英会の次世紀プロジェクト

(Saga scholarship association Next Century Project=SNCP)

公益法人佐賀育英会は、大正7年、鍋島直大（佐賀藩11代当主）を総裁、大隈重信（外相、首相、早大創立者）を副総裁として発足。その後、大正10年に財団法人として認可されてから数えて、本年(令和3年)には100年の歴史を有する公益財団法人です。

本会は、設立当初の大正7年に奨学金給付事業を、また大正10年には顕彰事業を実施、さらに大正13年からは東京に松濤学舎（学生寮）を運営するなど逐次事業を拡大し、優良な学生の育英奨学や佐賀県教育の振興に寄与してきました。

現在の育英会の主要事業である学生寮“松濤学舎”からはこれまで1200名余の有為な学生を世に送り出し、彼らは佐賀県はもちろん国内外において活躍し、我が国とふるさと佐賀の発展に貢献して来たと自負しております。

今年、令和3年は、我が育英会が創立100周年を迎え、新たなる100年への第一歩を踏み出す大きな転換点となる年となります。

この機会に、新たな世紀に向かう視点として、ジェンダーレス、ボーダーレスを掲げ、次代を担う学生の育成にさらなる行動を行っていくために次の事業を「佐賀育英会次世紀プロジェクト（Saga scholarship association Next Century Project=SNCP）」として実行していきます。

- ☞ P 1 松濤学舎の男女共同型、ジェンダーレス化への転換
- ☞ P 2 海外留学生支援の奨学制度の創設
- ☞ P 3 未来の主人公（若者）夢応援事業の実施
  - ①松濤学舎生による佐賀の高校生へのプレゼンテーション事業の実施
  - ②松濤学舎 OB 人材による就職相談会の開催
- ☞ P 4 温故知新、100周年記念事業の実施
  - ①創立100周年記念式典、記念講演
  - ②佐賀育英会百年史刊行

新たな学びの場として首都圏への進学を希望する若者。将来は佐賀に戻り地域の発展に貢献していきたいという若者、県外にありながらもふるさと佐賀への応援を行っていこうという若者の「志」を支え、今後の「活躍」を援ける場を提供していきます。

これらの新世紀プロジェクトの実施によって、佐賀育英会、松濤学舎の活動がさらに充実かつ魅力あふれるものになることにより、ふるさと佐賀で活躍し、あるいは佐賀以外の地において佐賀を強かに応援していく人材を育成することを目指していきます。

これからの佐賀育英会の活動に期待していただくとともに、これまで以上のご支援をお願いいたします。

## 1. 事業概要

### ◎プロジェクト1(P1) 松濤学舎の男女共同型、ジェンダーレス化への転換

松濤学舎においては、これまでは男子学生のみでの受入れを行ってききましたが、現在の男女共同参画社会への変化、ジェンダーレス化の動きに沿いながら、未来を共に創り上げていく有為な女子学生の育成にも助力するということから、これまで男子学生に限定してきた入寮資格の制限を無くしていくこととしました。

女子学生の入寮を可能とするため、学舎の施設設備等を改修し、男女共同型の学生寮へと大転換します。

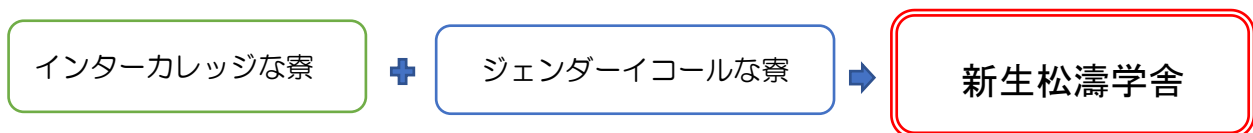


#### (事業のねらい)

女子学生が入寮することで、大学生活とは別次元の“生活の場としての寮生活”や“学生寮の運営”を男女の学生が協働して行っていくことにより、双方がお互いの考えを傾聴、理解し、さらにはリスペクトし合うことにつながっていくことを期待します。

さらに、これにより男子学生、女子学生双方の意識の改革、向上につながっていくことを目指しています。また、このことが佐賀の女性活躍の一助にもつながれば幸いです。

これまでの松濤学舎は他大学の学生が在舎し、刺激し合うという大学共同型の学生寮であるのが特徴でありました。今回、さらに、男女協働型学生寮の性格が加わることでさらに強力な“新生松濤学舎”へと変容していくものであり、次世紀に向けたシンボリックな事業と位置付けています。



\* 多様な大学の学生の交流の場   \* 男女が共に活躍する場   \* ワンステップ上の寮へ  
(参考データ)

佐賀県の高校から東京都への進学者は、319人でうち男子が209人、女子が110人と2:1の割合で女子学生も東京都への進学を行っているが、これまでの松濤学舎においてはその受け皿機能をはたしていなかった。

佐賀県内高校の大学への進学者数<流出先>  
(平成30年4月入学者)

合計				男子			女子		
進学先大学の所在地	実人数	県内大学進学者における割合	進学先大学の所在地	男子実人数	県内男子大学進学者における割合	進学先大学の所在地	女子実人数	県内女子大学進学者における割合	
1 福岡	1,450	40.2%	1 福岡	775	39.1%	1 福岡	675	41.5%	
2 佐賀	605	16.8%	2 佐賀	283	14.3%	2 佐賀	322	19.8%	
3 東京	319	8.8%	3 東京	209	10.5%	3 東京	110	6.8%	
4 長崎	226	6.3%	4 長崎	118	6.0%	4 長崎	108	6.6%	
5 熊本	185	5.1%	5 熊本	106	5.3%	5 熊本	79	4.9%	
6 京都	74	2.1%	6 神奈川	46	2.3%	6 山口	34	2.1%	
7 山口	68	1.9%	7 大分	42	2.1%	7 京都	33	2.0%	
8 神奈川	66	1.8%	8 京都	41	2.1%	8 大阪	31	1.9%	
9 大阪	66	1.8%	9 大阪	35	1.8%	9 兵庫	28	1.7%	
10 大分	62	1.7%	10 広島	34	1.7%	10 神奈川	20	1.2%	

◎プロジェクト2(P2) 海外留学生支援の奨学制度の創設

佐賀育英会では発足以来、奨学金の貸与や優秀学生の表彰などを行ってきましたが、現在では財政面の制約からこれらの支援は休止しております。

今回100周年を迎えるにあたっては、ボーダーレス化の進展という時代背景に反し、若者の海外留学者数は減少しているという状況を少しでも改善できればということから、新たな視点に立った奨学制度を創設することとし、海外への留学、研修を計画する学生に対し、その費用の一部に充ててもらうため海外留学生支援の奨学制度を創設することとしました。

奨学金の対象は、松濤学舎在舎生とともに、佐賀県在住の学生を対象とすることを考えております。



英会話教室

<現在行っている国際化対応の活動>

制度設計はこれからになり、募金の状況によっても内容が変わってきますが、現在の事業イメージとしては以下のように考えています。

- \*奨学金額 年額25万円
- \*給付期間 2年間
- \*給付対象 毎年度2名程度
- \*事業実施期間 令和4年度～令和13年度(10年間)

## ◎プロジェクト3(P3)未来の主人公(若者)夢応援事業の実施

### ①松濤学舎生による佐賀の高校生へのプレゼンテーション事業の実施

東京に進学した松濤学舎生の感じた、・東京での学生生活の経験、・東京のリアルな実態を佐賀にいる高校生及び保護者に伝えることにより、東京進学の心理的な“壁”をなくすことを目的とする。

場所：佐賀市内

講師：松濤学舎在学学生

参加予定者：佐賀県内の高校生及びその保護者

### ②松濤学舎 OB 人材による就職相談会の開催

就職活動を控えた大学生を対象に業界・企業情報の提供や就職活動指導を行う。

場所：松濤学舎（リモート参加も可）

講師：各分野に勤務する松濤学舎 OB3～40 名

内容：基調講演、業界・企業情報紹介、エントリーシート公開添削、個別 QA

参加者：在学学生、佐賀県出身大学生、佐賀大学生、西九州大学生

## ◎プロジェクト4(P4) 温故知新、100周年記念事業の実施

新世紀を見据えた新たな発展を目指す時には過去の歴史を再検証することによって新たな発展のヒントを見つけていく、まさに“温故知新”の活動も大事なことと考えます。

これまで佐賀育英会が歩んできた歴史を検証し、それを活かしながら新たな世紀、今後100年に向かって若者たちや若者たちの成長を支える人々の行動指針を見つけていく一助にしたいと思います。

①創立100周年記念式典、記念講演を佐賀と東京において開催します。

②佐賀育英会百年史を刊行し、関係各所に贈呈します。

## 2. 事業期間

### P1 松濤学舎の男女共同型、ジェンダーレス化への転換

#### <スケジュール案>

○令和3年6月 改修工事に関する優先交渉事業者の決定

○令和3年7月20日 合同役員会

○令和3年7～12月 改修工事事業者の決定、契約、設計

○令和4年度 改修工事

○令和4年度中 女子学生の応募開始

○令和5年1月 女子学生の入寮者決定

○令和5年1月 女子学生の入寮者開始

P 2 海外留学生支援の奨学制度の創設

P 3 未来の主人公（若者）夢応援事業の実施

①松濤学舎生による佐賀の高校生へのプレゼンテーション事業の実施

②松濤学舎 OB 人材による就職相談会の開催

<スケジュール案>

○令和4年 夏 事業計画検討、関係者依頼、参加者募集

○令和4年 秋 事業実施

P 4 温故知新、100周年記念事業の実施

・創立100周年記念式典、記念講演・・・コロナ感染拡大により

#### ◆「ふるさと納税」、「企業版ふるさと納税」対象事業

今プロジェクトに関しましては、次世代を担う若者の支援のための寄付事業として、佐賀県より「ふるさと納税」「企業版ふるさと納税」の対象と認めていただきました。令和3年9月1日より令和5年3月31日まで、目標額を1億円として寄付活動を開始しております。

#### 「佐賀の若者応援・次世紀プロジェクト」寄付金募集発起人

佐賀県知事（佐賀育英会顧問）	山口 祥義
佐賀県議会議長（佐賀育英会顧問）	藤木卓一郎
佐賀県教育長（佐賀育英会理事）	落合 裕二
佐賀育英会理事長	碓 正義
佐賀育英会評議員会議長	溝口 進
松濤学舎舎友会会長	大坪 信剛
松濤学舎九州舎友会会長	木原 奉文
佐賀県高等学校PTA連合会会長	西岡 豊
佐賀県高等学校長会会長	青木 勝彦
佐賀県商工会議所連合会会長	陣内 芳博
佐賀県商工会連合会会長	峰 英太郎
東京佐賀県人会会長	嘉村 孝

#### ◆お問い合わせ◆

〒184-0013 東京都小金井市前原町 3-3-28  
公益財団法人佐賀育英会 TEL042-381-3676  
アドレス：nabeshima2021@iaa.itkeeper.ne.jp  
U R L：http://www.shoutougakusya.com